

## 事業事前評価表

### 国際協力機構アフリカ部アフリカ第三課

#### 1. 案件名（国名）

国名：マラウイ共和国

案件名：中西部地方給水計画

(The Project for Selected Market Centres and Rural Water Supply in Mchinji and Kasungu District)

#### 2. 事業の背景と必要性

##### (1) 当該国における水セクターの現状と課題

マラウイ共和国における地方小都市（人口 5 千人程度）では、施設の不足と既存施設の老朽化が進む一方で、激しい人口増加により給水状況が劣悪である。これら地方小都市の人口は、さらに 2020 年までに 2 倍近くに増加することが予想されており、一層深刻な水不足が懸念されている。また、農村部においても依然安全な水の確保が難しい状態が続いている。安全な水が近くで得られないことから、生活用水の確保のための女性や子どもの水汲み等の負担が大きく、またやむなく衛生的でない水を利用する住民も少なくないことが水因性疾病にもつながっている。

##### (2) 当該国における水セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

現在マラウイ政府は、産業と生活に必要となる水の需要を満たすため、国家開発戦略として策定された第二次マラウイ国家成長開発戦略（MGDS II：2011-2016）において、水資源開発を優先分野（Key Priority Area）として重点的に取り組むことを掲げている。第一次マラウイ国家成長開発戦略（MGDS：2006-2011）を経て、水へのアクセスが 73%から 93%へと改善がみられたことから、今次戦略においては、安全且つ衛生的な水へのアクセス向上を課題と設定している。

##### (3) 水セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

我が国及び JICA の対マラウイ国別援助方針において、水資源開発を援助重点開発課題の一つに挙げており、今後も政策立案能力や給水施設維持管理体制の強化、給水施設の増強に取り組んでいくこととしている。また、本事業はミレニアム開発目標（MDGs）に掲げられている「環境の持続可能性の確保」及び、TICADIVにおいて採択された横浜行動計画の中のアフリカにおける 650 万人への安全な水供給に貢献する。

##### (4) 他の援助機関の対応

2000 年以降、MGDS や MDGs に沿って、中規模都市での新規給水施設建設は世銀やアフリカ開発銀行の支援の下で全国 20 か所程度実施されてきたが、対象地域の重複はない。

#### 3. 事業概要

##### (1) 事業の目的

本事業は、ムチンジ県、カスング県において管路系給水施設の建設及び既存深井戸の修繕ならびに維持管理にかかる住民啓発活動への指導を行うことによって、持続的に安全な水供給を図る。

##### (2) プロジェクトサイト/対象地域名

ムチンジ県ムカンダ地区、及びカスング県サンテ地区（管路系給水施設）

ムチンジ県の 276 村落（深井戸修繕）

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

施設：ムチンジ県ムカンダ地区及びカスング県サンテ地区における管路系給水施設の建設、ムチンジ県における既存深井戸の修繕（280 本）及び建設（54 本）

機材：井戸リハビリテーション用機材

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

入札・調達施工監理／井戸修繕・建設後の維持管理に係る住民啓発活動への指導

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 5.88 億円（概算協力額（日本側）：5.63 億円、マラウイ国側：0.25 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2012 年 9 月～2014 年 6 月を予定（計 22 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

水開発・灌漑省（MOWDI）が実施機関となる。

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：カテゴリ分類の根拠：地方給水（井戸建設等）を行う案件であり、環境・社会への望ましくない影響はほとんどないと考えられる。

2) 貧困削減促進：特になし

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：主に女性・子どもが担っている水汲みなどの労働が軽減される。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担：2012 年度に開始された技術協力プロジェクト「地方給水運営維持管理プロジェクト」（2011～2015 年）により MOWDI 及びムチンジ県職員の地方給水維持管理能力が強化され、本事業で修繕される井戸施設の維持管理体制が改善される予定。他ドナーの事業との間に重複はない。

(9) その他特記事項：特になし。

#### 4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

用地確保、ソフトコンポーネントの対象となる要員の確保等のマラウイ側負担事項が行われる。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

外貨不足等の影響による物価高騰が起こらず、燃料・資機材が安定的に調達できる事

#### 5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

過去の類似案件では、盗難対策や錆びにくい部品の活用などにより、施設・機材とも概ね良好に管理・活用されていることが教訓として得られている。

(2) 本事業への教訓

盗難対策や錆びにくい部品を活用するなど、施設の適切な利用・管理に向けて設計・計画

段階から取り組むこととする。

## 6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

### (1) 妥当性

本事業は 2. 事業の背景と必要性で記述のとおり、マラウイのニーズ及び開発政策、並びに日本政府・JICA の援助方針と十分に合致している。本事業は、急激に増加する人口と水需要による深刻な水不足に対応するものであり、本事業実施の意義及び緊急性は高い。

### (2) 有効性

#### 1) 定量的効果

指標名		基準値 (2010 年)	目標値 (2017 年)【事業完成 3 年後】
安全な水の給 水人口 (人)	ムチンジ県の深井 戸修繕	52,250 人	83,500 人
	ムカンダ・サンテ両 地区の管路系給水 施設建設	5,250 人	14,536 人

#### 2) 定性的効果

水因性疾患の減少。水汲労働の軽減による子供の就学機会・女性の就労機会の拡大。

## 7. 今後の評価計画

### (1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

### (2) 今後の評価のタイミング

・ 事後評価                      事業完成 3 年後

以 上